

● 第219回国会（臨時会）が開会

10月21日より、第219回国会（臨時会）が開会しました。新たに総理大臣となった高市早苗総裁のもと、地元北海道の先生方にご指導いただきながら、国会に臨みます。

10月24日の開会式の後、ほぼ全員（11人中10名）の同期と共に記念撮影をしました。県選挙区や全国比例を勝ち抜いてきた精銳ばかりです。私も同期の皆さんと連携しながら、議員としての務めを果たしてまいります。



同期と共に記念撮影をしました。

● 自民党・農民の健康を創る会に出席

11月12日に自民党「農民の健康を創る会」に出席しました。

物価高騰や賃金上昇局面の中、とりわけJA厚生連等が運営する公的病院は、地理的・条件的に厳しい地域での経営を強いられています。公的病院が今後も事業を継続していくけるような支援策がなければ、地域医療は崩壊してしまいます。効果的な支援策の実現に向け、私も全力を尽くしてまいります。



公的病院が持続的に経営できなければ地域医療は崩壊しかねません。

● 全国たばこ耕作組合長・代表者会議に出席

11月4日に全国たばこ耕作組合長・代表者会議に出席しました。翌日に開催された「葉たばこ審議会」に向け、全国各地からたばこ耕作組合関係者が集結されました。

私からは、愛煙家の一人として日頃の葉たばこ生産に御礼申し上げるとともに、農畜産物と同様、再生産可能な価格を実現する必要がある旨申し上げました。



全国たばこ耕作組合長・代表者会議においてご挨拶させていただきました。

東野ひできプロフィール

（経歴）

昭和46年11月 北海道名寄市風連町生まれ 平成29年6月 同 代表理事組合長
平成15年5月 風連農協青年部長 令和5年6月 ホクレン代表監事
平成21年4月 JA道北なよる理事 令和7年7月 参議院議員初当選
平成27年4月 同 代表理事専務

（参議院 所属委員会）

農林水産委員会理事／議院運営委員会委員
デジタル社会の形成及び人工知能に関する特別委員会委員
資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会委員

東野ひでき後援会

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-3-13第2斎藤ビル3階B室
TEL:03-6285-2551 FAX:03-6285-2552

公式ウェブサイト



Facebook



Instagram

公式SNS



LINE



Youtube

発行：自由民主党東京都参議院比例区第五十八支部
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-3-13 第2斎藤ビル3階B室
電話：03-3527-1550

参議院議員

東野ひでき 国政報告

皆さんのおかげで当選することができました！
本当にありがとうございます！

令和6年3月にJAグループ推薦候補者となってから500日余り、全国各地を駆け巡り、JA組合員・役職員をはじめ、商工事業者や土木事業者、医療関係者等地域を支える皆さんのもとへお邪魔しました。今回の参議院議員選挙は、自由民主党に対する逆風がすさまじく、本当に厳しい戦いとなりましたが、皆さんの多大なるご支援により、立派な得票数で当選を果たすことができました。心より御礼申し上げます。

私に課せられた役割は、現場の農業者・JA役職員の声を国政に反映することです。そのために、これまで全力で取り組んでまいりました。皆さんの声を届けるべく、東野秀樹、これからも全力で取り組んでまいります！引き続き、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

参議院議員

東野秀樹



参議院農林水産委員会理事に就任!

10月21日に開会した第219回国会（臨時会）において、藤木眞也参議院議員が参議院農林水産委員長に選任されました。そして私も農林水産委員会に所属することとなり、11月18日に開催された農林水産委員会において理事に選任されました。

当選直後は厚生労働委員会等に所属していましたが、農林水産業界や地域を支える皆さんを代表して議員になったからには、農林水産委員会に所属したいと考えて

おりました。念願がかない、さらに理事にも就任できましたので、農林水産業現場をはじめ、JAや地域を支える関係団体・企業の願いを政策に反映できるよう、全力で取り組む覚悟です！

藤木眞也委員長と力を合わせ、二馬力で頑張ってまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

自民党・農業構造転換推進委員会で発言

自民党は、わが国の農業構造の転換を推進するため、新たに「農業構造転換推進委員会」を設置し、精力的に議論を重ねています。江藤拓委員長が初会合でおっしゃったように、まさに国土・国民を守るための食料安全保障を確立するための議論が必要な状況となっています。

私は、さまざまな農業がある中で、委員会での議論が米中心であることに違和感を覚えました。米価高騰が収まらない状況にあっては、どうしても議論の中心が米になることはやむを得ないと思いますが、これまで国を挙げて取り組んできた麦・大豆、WCS用稻といった戦略作物についてもしっかり考えていかなければなりません。これらの戦略作物には実需者がおられるため、バランスよく生産できるような仕組みを考えなければなりません。そういう観点から「農業構造の転換に向け、水田政策の見直し議論を軸としつつも、畑作や畜産・酪農について

も一体的に議論し、総合的なビジョンを示していく必要があるのではないか」と発言しました。新たな食料・農業・農村基本法と同基本計画では「食料安全保障」が柱に位置付けられており、その実現にはまさに農業構造の転換が必要不可欠です。

引き続き、生産現場や取り巻く地域の意見をしっかりと受け止め、農業政策の実現に向け、全力で取り組んでまいります。



自民党・酪政会総会で発言

11月21日、自民党酪政会総会に出席しました。会場には日本酪農政治連盟をはじめ、多くの酪農関係者の皆さんが出でていました。

皆さんもご存知のとおり、生乳需給が緩和する中で、近年は飼料価格の高騰や国産飼料のひっ迫等、酪農家の生産コストが急上昇しています。コロナ禍以降、需給バランスが不安定となっており、脱脂粉乳やバターの在庫量は増加する見通しとなっています。

それらを踏まえ、私からは「万全な予算を確保するとともに、国産飼料増産の観点から適切な支援水準とともに

と、クラスター事業等の柔軟な運用」などについて求めました。



自民党・林政対策委員会に出席

10月16日、自民党「林政対策委員会」に出席しました。私は森林組合の組合員でもありますから、農業経営と同じく林業経営も厳しい状況に置かれています。林政のテーマは、住宅から鳥獣害対策等幅広いものとなっています

が、森林づくりは減災・防災や地域経済循環の観点からも極めて重要であると考えています。林政対策にもしっかりと取り組んでまいります。

自民党・食と農への消費者の理解醸成と行動変容に向けた施策PTで発言

10月16日、自民党「食と農への消費者の理解醸成と行動変容に向けた施策PT」に出席しました。

現在、自民党内では食育基本法の改正に向け議論が進んでおり、この日のPTでは食育基本法改正の必要性や検討の方向性について整理したものをベースに議論しました。私からは「整理されたものにはさまざまな視点で明記されているものの、要は受け止めてもらえるかが重要。受け身ではなく、なぜ、わが国で食料を生産するこ

とが必要かを語れる人材育成が必要だ」と発言しました。



自民党・治水議員連盟に出席

10月22日、自民党「治水議員連盟」に出席しました。今年も全国各地で水害が発生していますが、最近は線状降水帯の発生により長時間、同一場所に大雨が降るのが特徴となっています。未然に水害を防止するためには、河川整備や河川管理施設等のメンテナンスが欠かせませんが、資材価格や人件費高騰等の影響もあり、十分な予算とは言い難い状況となっています。

しかしながら、水害による被害額と復旧に要する費用は、先行投資としての事前防災と比べると巨額になることから、事前予防対策が大変重要です。河川が氾濫す

ば、田畠はもちろん、住宅や商店等も甚大な被害を受けます。社会経済への影響を抑制するため、今後も治水事業を推進してまいります。



自民党・都市農業研究会に出席

11月14日に自民党「都市農業研究会」に出席し、その際行われた役員改選で事務局次長を拝命しました。今後も事務局次長として、事務局長の福田かおる先生をお支えいたします。

この日は農林水産省・国土交通省・JA全中・全国農業会議所からご説明いただいた後、意見交換を行いました。私からは①農業への理解醸成を図るためにも都市農地の果たす役割は重要であること、②都市部においてもやりがいのある農業となるようにしていただきたいこと

の2点について発言させていただきました。今後も都市農業の振興に向け、全力で取り組んでまいります。

